

オーストラリア語学研修を終えて

1、ホストファミリーとの生活

現地に着いたら学校までホストファミリーの方が迎えに来てくれた。最初は正直かなり緊張していて車のなかでは苦笑いで乗り切っていた。私のホストファミリーはママ一人だけで子供がいる家族を望んでいた私にとっては少し残念な気持ちがあった。しかし、その残念な気持ちも初日だけで次の日から毎日快適で楽しい毎日が待っていた。料理は私が思っていたよりも量が少なかったものの、毎日変わった料理を出してもらい食後には必ずフレッシュなフルーツがありとても満足だった。休日には、私が行きたいと言った場所に連れて行ってもらい門限、シャワー時間、家でのルールなどの制限がなくとても快適にオーストラリアでの生活を送ることができた。

しかし、どのホストファミリー先でもこのような生活を送ることができるというわけではないという所を注意しなければいけない。小さい子供がいる家では夕飯の時間が決まっている家庭が多く、夕方6時ごろでとても早い。そのため必然的に門限も早くなってしまい自由な時間が限られる。また、ホストファミリー先によってはwi-fi環境がない家がある。基本的にcity以外にはfree wi-fiがなく、いつも携帯など通信機器を手放せなくなっている日本人にとって電波のない環境はとても暇だと感じる人が多いと思われる。

オーストラリアではホストファミリーと過ごす時間が一番英語を使う時間だと私は感じた。そのため、少しでもコミュニケーション能力を伸ばしたいと思ったら、部屋にこもりっぱなしではなくリビングでファミリーとの時間をたくさん過ごすことをお勧めする。そうすることによってホストファミリーとの壁がすぐになくなりお互い良い気持ちで一緒に生活を送ることができる。

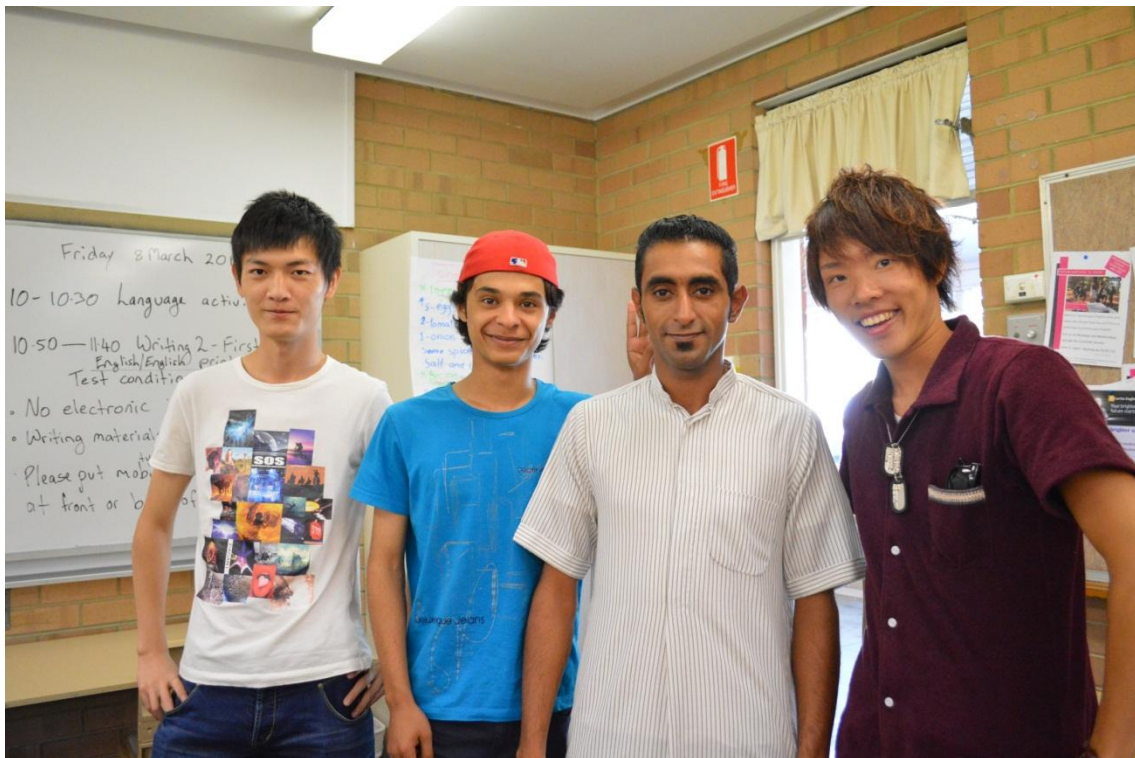


2、大学での授業(ELICOS class)について

ELICOS class では、いろんな国から来た人たちと共にリスニング、スピーキング、文法問題などの演習を行った。私のクラスには、中国、リビア、クウェート、サウジアラビアなどの国から来た人がいて普段こんないろんな国の人たちと関わることがなかったのでとても貴重な体験が出来たと感じている。また、英語の発音には、それぞれの国のなまりがあり、会話を聞き取るのがすごく大変だったが授業を通して確実にリスニング能力は上がると思われる。

授業は基本的にあまり難しくなく、間違えた発言をしても恥じることはない。ほかの国の人とはとても積極的に発言をしていたので自分も負けまいと思い発言をするように心がけた。たまに、宿題を出されたが宿題も難しいものではなく、30分程度で終わるものだった。

クラスでは、日本人も何人かいるができる限り日本人通しで固まるのはやめたほうがいい。せっかくいろんな国の人からその国の文化や日本との違いなどたくさんのことを聞くことができるのにもったいないからだ。クラスで仲良くなった友達とは今でも Facebook でメッセージのやりとりをしてつながっている。自分から進んで話しかけにいて、話しかけるのが苦手な人は Facebook の力を借りることをお勧めする。



3、お勧めスポット

・景色 No1----キングスパーク

キングスパークからはシティが一望でき絶景を楽しむことができる。また、野原や木陰があるので、ピクニックや一日ゆっくりとするには最適な公園だ。パーク内にはカフェや食事する場所もある。プログラムのなかにキングスパークは含まれているがほとんど団体行動でゆっくりとすることが出来ないでプライベートで行ったほうがゆっくりと楽しむことができる。



・感動 No1----フリーマントルプリズン

港町フリーマントルには、1991 年まで実際に使用していた監獄(プリズン)がある。ここは世界遺産としても登録してある場所だ。なぜプログラムにこの場所が含まれていないのか不思議くらいプリズンのなかは素晴らしかった。実際に使用していた、房、食堂、死刑台などを見ることができ、写真も自由に撮ることが出来る。学生は学生証を提示すると16ドルで入ることができるので是非時間がある人は足を運んでみては？



・ビーチ No1----ロットネスト島

ロットネスト島では、みんなレンタルバイクを借りて島全体を駆け回ることができる。自転車で暴走するのもたまらなく面白いが、自分たちで隠れたプライベートビーチを見つけるのも最高だ。波もあまり高くなく気持ちよく泳げる。ロットネスト島に行く際水着は必需品だ。



4、ワンポイントアドバイス

・物価

思った以上に高く驚いた。自動販売機での600mlペットボトルの値段は3.8ドル、スーパーで安く買ったとしても3ドルくらいだ。また、外食をするとなると基本的に一回の食事で10ドルはかかる。店を間違えると30ドルぐらいいくので注意を！

・荷物

オーストラリアにはたくさんスーパーがあり生活必需品などは現地で購入が可能である。私は、日本からシャンプー、ボディソープ、歯磨き粉などを持参していたので荷物がかさばってしまった。スーパーは大学から歩いて10分くらいのところにあるので、すべて日本から持ってくる必要はない。また、お土産をたくさん頼まれている人は大きめのスーツケースを持参することをお勧めする。私はお土産を買いすぎてしまい、同じルームメイトのとしくんのスーツケースに入れてもらう事になってしまったので、私の二の舞にならないようにして頂きたい。

・wi-fi 環境

私はオーストラリアに行くまではオーストラリアはfree wi-fiがいっぱい飛んでいると聞いていたので安心していましたが実際ほとんど飛んでいません。かろうじて、家ではwi-fiが飛んでいたのですがLINEやメールをすることができたが、もしなかったら相当不便だったと思う。もし、早めにホストファミリーの連絡先を知ることができたら、wi-fiあり、なしの確認をすることをおすすめする。

・Facebook

現地での友達作りに大活躍したのがFacebookだ。話す話題がなくてもとりあえずFacebookの名前教えて！と話しかければ、そこから切り開くことができる。現地の人にはほとんどの人がFacebookをやっているの、メッセージのやり取りもできる。もし、まだFacebookのアカウントを持っていない人は、留学に行く前までに始めることをお勧めする。

5、まとめ

このオーストラリア短期留学のプログラムを終えてたくさんの人とふれ合い、様々な貴重な体験をすることができた。全体を通して思ったことは、何事も自分から進んでやってみるということだ。なにか自分からアクションを起こさない限り、この短期留学はただの旅行で終わってしまう。この短期留学を有意義なものにしたいと考えている人は、自分から進んで話しかけたり行動することが大切だと感じた。この留学で得たたくさんの価値観や経験をこれからの自分の人生に活かしていきたいと思った。